

# エコアクション 21 環境経営レポート

2023 年度版

(運用期間：2023 年 5 月～2024 年 4 月)



高機能粉体塗装製造ライン

発行日：2023 年 05 月 31 日

有限会社 専塗工業

## 目 次

1.	組織の概要	1
2.	認証・登録の対象範囲	1
3.	環境経営方針	2
4.	実施体制	3
5.	環境経営目標	4
6.	環境経営計画	5
7.	環境経営計画に基づき実施した取組内容	6、7
8.	環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果 とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び 環境経営計画	8~12
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	13
10.	代表者による全体評価と見直しの結果・指示	14

# 1. 組織の概要

- (1) 事業所名 有限会社 専塗工業  
代表者氏名 代表取締役 御手洗 辰春
- (2) 所在地 本社 〒803-0185 福岡県北九州市小倉南区石原町  
小倉鉄工団地内 205 番地
- (3) 環境管理責任者  
管理責任者 御手洗 辰春  
管理担当者 上田昌志・福島 大地・赤星学  
連絡先 TEL 093-451-3173 FAX 093-451-3174  
Eメールアドレス mitarai.yosiharu@sepia.plala.or.jp
- (4) 事業の内容 工業塗装（金属塗装）  
・ 配電盤・制御盤、住宅設備品の塗装、金属表面処理  
  
・ 弊社ホームページアドレス <https://sento-kougyou.com/>
- (5) 事業の規模 総売上額：12,400 万円／年 （2023 年度）
- | 区分   | 単位             | 本社  |
|------|----------------|-----|
| 社員数  | 人              | 13  |
| 延床面積 | m <sup>2</sup> | 950 |
- (6) 事業年度 5 月～翌年 4 月  
(7) 資本金 300 万円  
(8) 会社設立 平成 15 年 12 月 8 日

# 2. 認証・登録の対象範囲

- (1) 対象事業所 有限会社専塗工業 本社・工場  
(2) 対象部門 塗装部、組立配線部  
(3) 認証登録範囲 全社・ 全部門

## 3. 環境経営方針

### ＜環境経営理念＞

有限会社専塗工業は、工業塗装事業に於いて環境に配慮し社会に貢献すると共に、環境への負荷を低減する為に、継続的改善に取り組みます。その事が社員全員の意識の高揚、生産性向上、ひいては企業業績の拡大に資するものと確信をいたします。この事を、「企業理念」の一部としても掲げ広く宣言し、会社をあげて環境に優しい企業づくりに取り組んでまいります。日常的には、使用する電気や水道などの削減、塗料や各種素材、産業廃棄物にも細心の注意を払い、その消費のあり方と処分方法に十分な配慮をしております。

そのため環境経営システムを構築、運用することにより継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

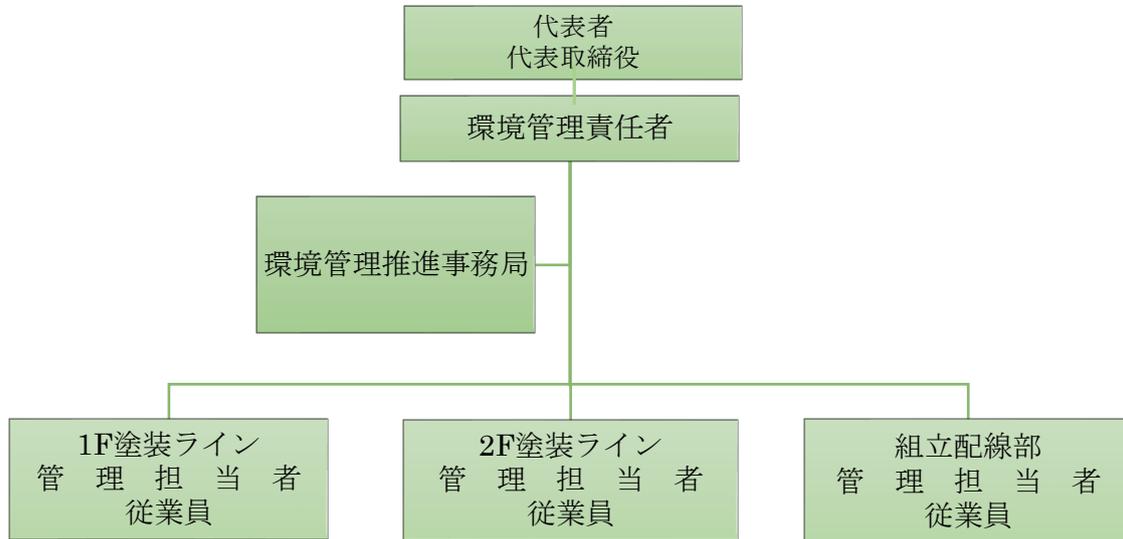
### ＜環境行動指針＞

環境経営理念に基づき、深刻化する環境問題への対応を経営の大きな柱と位置づけ、自主的、積極的、社会的な取組を行い、環境経営の継続的改善を目標に エネルギー使用量の削減、原材料の効率的利用、廃棄物の削減、業務効率化などにより環境負荷の低減を目指します。

1. 二酸化炭素の排出量を削減します。  
電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物を削減します。  
廃棄物排出量の発生抑制とリサイクルを推進します。
3. 水使用量を削減します。  
節水に努め、水使用量を削減します。
4. 化学物質使用量を削減します。
5. 環境負荷の小さい原材料を調達します。
6. 各作業工程の管理に努め生産効率を高めていきます。
7. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
8. 地域においては、環境に配慮した行動や環境保全に努めます。
9. この環境経営方針は、全社員に周知し、環境保全に向けた意識の向上に努めるとともに、一般にも広く公表します。

制定日 2022年10月22日  
有限会社 専塗工業  
代表取締役 御手洗辰春

## 4. 実施体制



### 【代表者】

代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ。環境経営方針を策定し、従業員に周知する。環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の投資の承認。EA21 全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施し、経営上の課題とチャンスを確認にする。環境管理責任者を任命する。

### 【環境管理責任者】

環境経営システムの構築・実施、管理の運用、環境関連法規等のとりまとめ、遵守状況チェック、環境経営目標・環境経営計画立案・実施、報告。

### 【環境管理推進事務局】

環境負荷、取組のチェック、担当者会議の開催、環境レポート作成・公開。環境管理責任者の補佐、環境経営目標に定めた測定項目の実績集計。全体の環境経営計画の実施

### 【部署担当者】

自部署の環境経営計画の実施、達成状況の把握及び部署内周知、部署内会議開催、責任者会議への参加。

### 【全従業員】

環境経営方針を理解し、環境経営計画に則り、自主的、積極的に環境経営に参加する。

## 5. 環境経営目標

・環境保全を目的に環境経営方針をふまえて環境経営目標の5項目10目標を決定しました。なお、「各部署の工程管理に努め、生産工率を高める」につきましては2022年実績をもとに目標を決め2023年度の目標にあわせました。化学物質は適正使用、適正管理に努めています。

・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量については、基準年(2022年度実績値)を基準に、毎年0.3%ずつ削減し、2025年度までに0.9%削減を目指します。

・事業活動で取り組む本業目標については、「各部署の工程管理に努め、生産効率を高める」を掲げ、2025年度までに3%増をあげて取り組んで環境経営を推進していきます。

環境目標	単位	基準年度		目標			
		2021年度	2022.1~3月	2023.1~3月 試行期間	2023年度 (0.3%削減)	2024年度 (0.6%削減)	2025年度 (0.9%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	184,934	47,787	47,644	184,379	183,825	183,270
①電力使用量の削減	kWh	143,154	35,634	35,527	142,725	142,295	141,866
②LPG使用量の削減	kg	34,008	8,831	8,805	33,906	33,804	33,702
③軽油使用量の削減	L	1,975	484	483	1,969	1,963	1,957
④ガソリン使用量の削減	L	3,126	854	851	3,116	3,107	3,098
⑤灯油使用量の削減	L	800	400	399	798	795	793
2. 廃棄物排出量の削減	kg	20,086.0	5,138.0	5,122.6	20,025.7	19,965.5	19,905.2
①一般廃棄物	kg	1,440.0	480.0	478.6	1,435.7	1,431.4	1,427.0
②産業廃棄物	kg	18,646	4,658	4,644.02	18,590.06	18,534	18,478
3. 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	349	88	88	348	347	346
4. 化学物質使用量の適正管理	kg	-	-	化学物質使用量の把握と適正管理に努める			
5. 各部署の工程管理に努め、生産効率を高める	売上/h r	6,241円	6,851円	6,920円	6,303円 (1%増)	6,366円 (2%増)	6,248円 (3%増)

(備考)

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.479kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力(株)2020年度調整後排出係数)を採用
- ・( )内の数値は、基準年(2021年度実績値)に対する削減率または向上率を示す。
- ・売上/h rの数値は2021年売上実績から稼働人数(総就業時間当たりの売上げ)を表したものです。

## 6. 環境経営計画

- ・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（担当部署・活動項目）を設定して、全社員で取り組みます。

※2023年度5月～2024年度4月を対象期間とします

※事業年度は5月～翌年4月です。

取組目標1	取組目標2	担当部門	担当責任者	活動項目	活動計画 (PDCA別)							
					5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
1.二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減	全部門	白武	・休憩中は電気消灯する	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		全部門	白武	・人感センサーを取り付け不要な点灯を防ぐ	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		塗装部1,2	福島	・デマンドコントローラーの活用	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
	②LPG使用量の削減	塗装部2	森	・色変えと治具替えを見直し作業効率を考える	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		塗装部1,2	福島	・塗装品不良率の低減	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
	③軽油使用量の削減	全部門	森	・エコドライブを実施	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
	④ガソリン使用量の削減	全部門	福島	・エコドライブを実施	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
⑤灯油使用量の削減	全部門	社長	・クールビズ、ウォームビズを行う	7月	計画	8月	実行	12月	計画	2月	実行	
2.廃棄物排出量の削減	①一般廃棄物の削減	塗装部1,2	森	・注文書のフォーマット変更後裏紙使用	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
	②産業廃棄物の削減	組立配線部	白武	・支給された梱包材は返却する	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		塗装部1	福島	・客先からの支給塗料は返却してもらうようにする	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
3.水使用量の削減	①節水活動	全部門	社長	・節水コマを取り付ける	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		全部門	社長	・シャワーを取り付ける	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		全部門	社長	・蛇口の仕様の交換	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
4.化学物質使用量の削減	①適正管理	塗装部1,2	社長	・適正管理に努める	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
5.生産性向上	①各部署生産性の向上	塗装部1	福島	・作業効率に向けて個人スキル向上に努める	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		塗装部2	森	・色変えと治具替えを見直し作業効率を考える	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行
		組立配線部	白武	・作業を簡略化させる為の治具を作成し作業効率を図	5月	実行	8月	実行	11月	実行	2月	実行

# 7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

## 環境負荷を削減する取組



エコドライブ運転  
マニュアル作成



CO2 削減

エコドライブ運転  
マニュアル作成

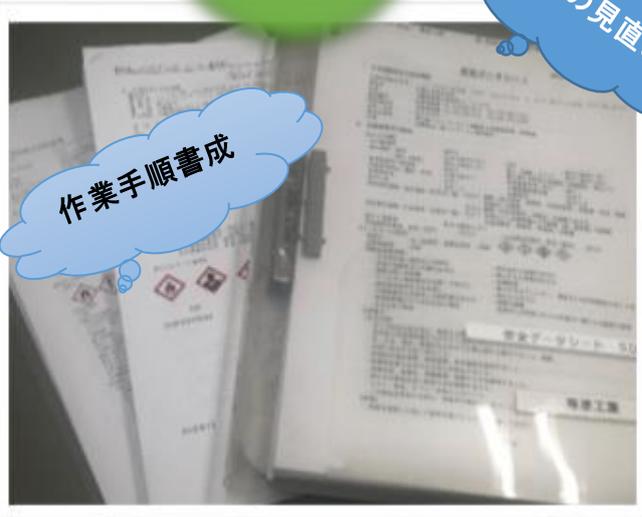


エコドライブを推奨する

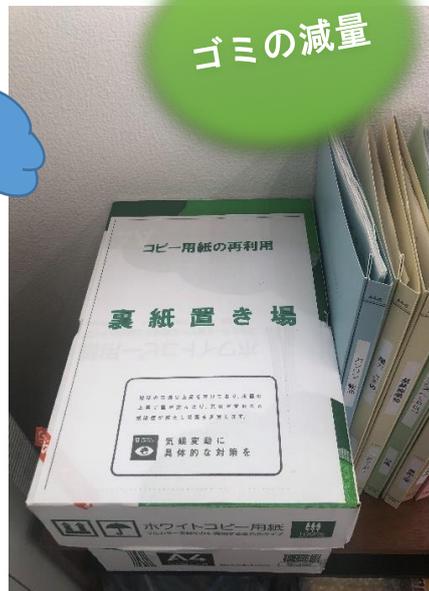
化学物質  
適正管理

SDSの見直し

作業手順書成



ゴミの減量



## 地域の美化活動に参加



## 8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに本年度の環境経営目標及び 環境経営計画

### (1) 環境経営目標の実績

今回の 2023 年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標 5 項目 10 目標のうち、「LPG の使用量の削減」、「ガソリン使用量の削減」及び「廃棄物排出量の削減」の 3 目標が達成できませんでした。理由として「廃棄物排出量の削減」は受注の増加などの影響もあり、また、「LPG の使用量の削減」、「ガソリン使用量の削減」については前期より生産量が増加したため使用量が増えた事が挙げられます。本業目標につきましては今後も継続目標として取り組んでいきます。

二酸化炭素排出量についてはデマンドコントローラーの活用と焼付工程の見直しによりコントロールができた。廃棄物排出量、LPG の使用量、ガソリン使用量はコロナ禍からのゆるやかな回復に伴い受注量が微増したこともあり達成できませんでした。使用量増加の原因としてはコロナ禍からの緩やかな脱却が考えられ、今後は効率的な営業車の使用を含め実績に注視しながら取組を継続していきます。

## (2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

2023年度 運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。

### 令和5年度 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果

#### 1.二酸化炭素排出量の削減

評価 ○:達成できてる ×:達成できていない

##### 1.1環境目標の達成状況と評価

環境目標 (削減率)	基準年度	5月~7月		8月~10月		11月~R6年1月		2月~4月		目標値 (12ヶ月累計)	実績	評価	
		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績				
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	-0.30%	184,934	46,095	41,791	46,095	43,374	46,095	45,822	46,095	47,489	184,379	178,476	○
電力使用量削減 (kWh)	-0.30%	143,154	35,681	30,690	35,681	32,670	35,681	32,064	35,681	32,058	142,725	127,482	○
LPG使用量の削減 (Kg)	-0.30%	34,008	8,476	8,038	8,476	8,250	8,476	8,975	8,476	9,758	33,906	35,021	×
軽油使用量削減 (ℓ)	-0.30%	1,975	492	328	492	118	492	180	492	193	1,969	820	○
ガソリン使用量の削減(ℓ)	-0.30%	3,126	779	918	779	937	779	1,110	779	1,017	3,116	3,982	×
灯油使用量削減(ℓ)	-0.30%	800	199	0	199	200	199	200	199	0	798	400	○
当期間の評価 (評価者: 社長 )		(注: 重要 2024年度も同様に四半期ごとに実施する)											

※目標値は環境経営目標で掲げた数値を3か月分にしたものです。

実施状況 ○:実施されている ×:実施されていない -:判定できない、該当しない

##### 1.2環境経営計画の実施状況と評価

活動項目	担当 責任者	5月~7月		8月~10月		11月~1月		2月~4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
・休憩中は電気消灯する	白武	○	・ガソリンの使用量が作業量に比例して上昇しています。	○	・ガソリンの使用量が作業量に比例して上昇しています。	○	・LPG及びガソリンの使用量が作業量に比例して上昇しています。	○	・LPG及びガソリンの使用量が作業量に比例して上昇しています。
・人感センサーを取り付け 不要な点灯を防ぐ	白武	○		○		○		○	
・デマンドコントローラーの活用	福島	○		○		○		○	
・色変えと治具替えを見直し	森	○		○		○		○	
作業効率を考える				○		○		○	
・塗装品不良率の低減	福島	○		○		○		○	
・エコドライブを実施	森	○		○		○		○	
・エコドライブを実施	福島	○		○		×		○	
・クールビズ、ウォームビズを行う	社長	○	○	○	○				
記録日 (記録者)		R5.7.31	白武	R5.10.31	森	R6.1.31	上田	R6.4.30	福島
総評者: 社長	・取組については、概ね良好。LPG、ガソリン使用量は、仕事量の増加により削減目標は未達でした								

**2.廃棄物排出量の削減**

評価 ○:達成できてる ×:達成できていない ー:判定できない、該当しない

2.1環境目標の達成状況と評価

環境目標	(削減率)	基準年度	5月~7月		8月~10月		11月~R6年1月		2月~4月		目標値 (12ヶ月累計)	実績	評価
			目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績			
廃棄物排出量の削減 (kg)	-0.30%	20,086	5,006	765	5,006	6,480	5,006	6,210	5,006	7,331	20,026	20,786	×
一般廃棄物 (kg)	-0.30%	1,440	359	165	359	180	359	210	359	195	1,436	750	○
産業廃棄物 (Kg)	-0.30%	18,646	4,648	600	4,648	6,300	4,648	6,000	4,648	7,196	18,590	20,096	×
当期間の評価 (評価者: 社長)			(注:重要 2024年度も同様に四半期ごとに実地する)										

実施状況 ○:実施されている ×:実施されていない ー:判定できない、該当しない

2.2環境経営計画の実施状況と評価

活動項目	担当 責任者	5月~7月		8月~10月		11月~1月		2月~4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
・注文書のフォーマット変更後裏紙使用	森	○	・計画通り進行しています。	○	・仕事量の増加により、廃棄物排出量も増加。	○	・仕事量の増加により、廃棄物排出量も増加。	○	・仕事量の増加により、廃棄物排出量も増加。
・支給された梱包材は返却する	白武	○		○		○		○	
・客先からの支給塗料は返却してもらうようにする	福島	○		○		○		○	
記録日 (記録者)		R5.7.31	白武	R5.10.31	森	R6.1.31	上田	R6.4.30	福島
総評者: 社長		・一般廃棄物は目標値を達成できたが受注増により産業廃棄物量が増加したため廃棄物排出量の削減目標は未達でした							

**3.総排水量の削減**

評価 ○:達成できてる ×:達成できていない

3.1環境目標の達成状況と評価

環境目標	(削減率)	基準年度	5月~7月		8月~10月		11月~1月		2月~4月		目標値 (12ヶ月累計)	実績	評価
			目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績			
総排水量の削減 (m)	-0.30%	348	87	100	87	90	87	79	87	71	348	340	○
当期間の評価 (評価者: 社長)			(注:重要 2024年度も同様に四半期ごとに実地する)										

実施状況 ○:実施されている ×:実施されていない ー:判定できない、該当しない

3.2環境経営計画の実施状況と評価

活動項目	担当 責任者	5月~7月		8月~10月		11月~1月		2月~4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
・節水コマを取り付ける	社長	○	・計画通り進行しています。	○	・計画通り進行しています。	○	・計画通り進行しています。	○	・計画通り進行しています。
・シャワーを取り付ける	社長	○		○		○		○	
・蛇口の仕様の交換	社長	○		○		○		○	
記録日 (記録者)		R5.7.31	白武	R5.10.31	森	R6.1.31	上田	R6.4.30	福島
総評者: 社長		・取組については、概ね良好です。							

**4.化学物質の適正管理**

評価 ○:達成できてる ×:達成できていない ー:判定できない、該当しない

4.環境経営計画の実施状況と評価

活動項目	5月~7月		8月~10月		11月~1月		2月~4月	
	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
・化学物質使用量の把握と適正管理に努める	○	・適正に管理している	○	・適正に管理している	○	・適正に管理している	○	・適正に管理している
総評者: 社長	・塗装仕様が粉体塗料などにより見直しをした結果、概ね良好です。 (VOC排出抑制自主的取組実績報告) 日本工業塗装協同組合連合会提出している							

※従業員数が21人以下の為、PRTR法に該当しない。

**5.各部署の工程管理に努め、生産効率を高める**

評価 ○:達成できてる ×:達成できていない ー:判定できない、該当しない

5.1環境目標の達成状況と評価

環境目標	基準年度	5月~7月		8月~10月		11月~1月		2月~4月		目標値 (12ヶ月累計)	実績	評価	
		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績				
・色変えと治具替えを見直し作業効率を考える ・作業効率に向けて個人スキル向上に努める (1%増)	6241	6,303	6,024	6,303	7,802	6,303	6,684	6,303	6,699	6,303	6,802	○	
当期間の評価 (評価者: 社長)			(注:重要 2024年度も同様に四半期ごとに実地する)										

### (3) 次年度の取組

#### 1) 環境経営目標について

- ・「5.環境経営目標」で計画している2023年度に設定した目標を適用します。

#### 2) 環境経営計画について

・環境経営計画の達成状況は概ね満足行く結果でした。環境経営目標に対する実績は、毎年削減値の目標が厳しくなっていますが、まだ達成できる余地はあると思います。

より一層の取り組み結果の目標達成を目指し、現在の取組を引き続き周知徹底して実施することとします。各部署の工程管理に努め、生産性向上については引き続き現在の取り組みを実践しつつ他の効率的な手段を模索します。

・総排水量の削減目標は基準年より減少しています。来季年度は、仕事量が増えることが見込まれますので、継続的な取り組みにより総排水量の削減を引き続き目指します。

- ・その他の取組項目については、「6. 環境経営計画」に基づき次年度も継続していきます。

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・ 当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・ 2023 年度期間中の事業活動に対して、2024 年 3 月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価 した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・ また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

関係法令の名称	法規制要求事項		関係項目	遵守評価	自主規制	適用される項目
消防法	火災予防、消火活動に支障を生じる恐れのある物質を一定数量以上貯蔵しまた取り扱う場合	危険物の分類として指定数量を規定 使用量・貯蔵量により施設を指定 危険物取扱責任者を選任	第4種（1石～4石）少量危険物	遵守	保管量の把握	危険物貯蔵所届出 指定可燃物取り扱い届出書
騒音規制法	事業活動に伴って発生する騒音について必要な規制を行い、生活環境を保全する	昼間：65dB以下、朝・夕：65dB以下・ 夜間：55dB以下	コンプレッサー	遵守	低振動・防音 スクリュウタイプ	特定施設設置（使用） 届出書公害防止氏名者届出書
振動規制法	事業活動に伴って発生する振動について必要な規制を行い、生活環境を保全する	昼間：65dB以下、 朝・夕・夜間：60dB以下		遵守	低振動・防音 スクリュウタイプ	特定施設設置（使用） 届出書公害防止氏名者届出書
大気汚染防止法	事業活動に従って発生するばい煙の排出を規制し許容限界を定める等により、国民の健康を保護し、生活環境を保全する	焼付乾燥炉（能力10,000m <sup>3</sup> /H以上） 吹付塗装施設（能力100,000m <sup>3</sup> /H以上） VOC排出規制	焼付乾燥炉	遵守	使用量の把握	公害防止氏名者届出書 VOC排出抑制自主的取組報告書
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規制	吹付塗装施設	塗装ブース	遵守	使用量の把握	指示と適切な保管
廃棄物処理法	廃棄物の排出を抑制し適正な分類、保管収集、運搬、再生、処分等の処置をする	産業廃棄物（廃プラ、汚泥） 塗料カス、空缶 一般廃棄物（紙くず、木くず）	マニフェスト	遵守	マニフェスト管理	廃棄物の適正分別と保管場所の確保 産業廃棄物の適正処理（収集運搬、処理業者への委託） 産業廃棄物管理表（マニフェスト）の交付と期間内処理の確認

## 10・代表者による全体評価と見直しの結果・指示

- ・今回の期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

### (1)取組状況の全体評価

- ・環境への取組状況については、電力のピークカットや焼付工程の見直しなどにより電気使用量は有効に機能していましたが、LPG 使用量、ガソリン量はコロナ禍からのゆるやかな回復に伴い仕事量が微増したこともあり達成できませんでした。今後は効率的な営業車の使用を目指し二酸化炭素排出量の減少を徹底してください。
- ・産業廃棄物排出量の削減については、コロナ禍からのゆるやかな回復に伴い受注量が微増したこともあり達成できませんでした。来期は取り組み内容の見直しをお願いします。
- ・総排水量の削減目標は基準年より減少していますが、コロナ禍が収束して、仕事量が増えることが見込まれますので、継続的な取り組みにより総排水量の削減をお願いします。

### (2)見直しの結果

- ・環境経営方針、環境経営目標は本年度も継続しますが、目標達成できなかった項目については各担当者が原因を把握して改善策を模索し目標達成を目指してください。
- ・より一層の取り組み結果の目標達成を目指し、取組を引き続き 周知徹底して実施することとします。

代表取締役  
御手洗 辰春